

戦 評 用 紙

平成26年度 学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会
バスケットボール大会埼玉県予選会

平成26年6月22日

会 場 和光市総合体育館

Jコート第2試合

対 戦	正智深谷 高校	19	—	19	川口北 高校
	95	15	—	19	67
		25	—	12	
		36	—	17	

第1P 関東大会予選の決勝戦と同一カードの決勝リーグ戦最終試合。高さに勝る正智と、早いパス回しが特徴の川口北、高確率のシュートが持ち味で得点能力が高い両チーム。お互いディフェンスは激しいマンツーマンでスタートする。正智は#7の高さを活かしたゴール下のパワープレイと#8の3pで得点を重ねる。川口北はメンバーを入れ替えてビッグマンを守ろうとするがリバウンドは正智が制し、制空権は正智が支配する。川口北は果敢に速攻を仕掛け、#6#10が3pを含めて得点を重ねる。お互い速い展開が繰り広げられ、ハイスコアの点の取り合いとなり、観客を魅了する決勝リーグにふさわしいゲームとなった。19-19同点で終了。

第2P 序盤正智は#4#7の高さを活かしたプレイで主導権を握るが、川口北は#4を中心に華麗なパス回しで正智をかき回す。落ち着いたパス回しからドライブ、アシストで5点差にしたところで正智のタイムアウト。川口北は#4からのアシストで#6#13が得点するが、正智は#4#7の高さで食らいつく。川口北はミスが出始め、6分8分にタイムアウトをとり立て直しをはかる。正智#4の個人技で追いつくが終了間際川口北の#15がリバウンドから真上に放り上げたボールが決まり、38-34川口北リードで前半終了。

第3P 正智は#7のゴール下で繋ぐが、川口北は#4の3p、#13#11双子のアシストで追いつかせない。ここで正智が#8の連続3pと速攻で一気に同点とし、その後も#4#7の高さを活かしたゴール下のプレイで引き離しにかかる。川口北は思うようにパスが回らなくなり、得点が伸びない時間帯となる。その間正智は#17を投入し、高さを活かしゴール下を制する。川口北も#10の3pで応戦するが、空中戦を制した正智が59-50と逆転して終了。

第4P 外のシュートが入らなくなった川口北に対し、正智はここにきて良く速攻を出し、引き離しにかかる。川口北もフルコートでプレッシャーをかけるが捕まえきれずにゴール下まで運ばれてしまう。最後まで走った正智深谷が勝利し、全国大会への切符を手にした。95-67で正智深谷の逆転勝利。(記録者： 草加西高校 伊澤 暁)